

2025年7月24日

お客様 各位



路線バス（乗合バス）の上限運賃変更の認可申請について

本日、国土交通省東北運輸局に対しまして、乗合バス運賃の上限運賃変更認可申請を行いましたのでお知らせいたします。申請理由および申請概要は次のとおりです。

1. 申請理由

当社の乗合バス事業を取り巻く経営環境は、2020年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により運送収入が大きく落ち込みました。その後は回復傾向が見られましたが、地域人口の減少や高齢化の進展などの影響により、コロナ禍前の水準への回復は難しい状況となっております。また、燃料費を中心とした事業運営コストの上昇と高止まりが続いたことから、2023年10月に約28年ぶりの運賃改定を行っております。

しかし、その後も物価高騰は続いており、最低賃金の継続的な引き上げなどが背景となって社会全般の人件費も上昇傾向にあります。

特に、全国のバス業界共通の課題として現場従業員の不足の問題が顕在化、社会問題化してきており、当社においても要員確保に向け各種の方策を講じているところであります。具体的には、要員確保のための最も効果的な方法は社員の処遇改善であるとの認識のもと、今年春の労使交渉、いわゆる春闘においては、従前の水準を大幅に上回るベースアップと一般昇給を実施しており、この結果、今後の人件費負担の増加が避けられない状況にあります。また、社員の労働満足度を高めるためには、待遇面の引き上げのみならず、労働環境の改善も必要であると判断しており、老朽化した営業所施設、設備の修繕や営業車両の更新に注力してきております。さらに、営業所における事務負担の軽減に向けては、DX投資や情報系インフラの拡充にも努めてきております。

このような厳しい経営環境にあって、引き続き公共交通機関として地域の足を守っていくためには、運賃改定による経営体質の強化が必要と判断し、今回の申請を行った次第です。利用者の皆様には追加的なご負担をお願いすることになりますが、何卒、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

2. 申請概要

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) 申請日 | 2025年7月24日（木） |
| (2) 運賃改定実施予定日 | 2025年10月1日（水） |

- (3) 対象路線 乗合バス全路線（高速バスを除く。）
- (4) 上限運賃の平均改定率 16.64%（実施運賃の平均改定率は6.75%程度を予定）
- (5) 現行・申請運賃比較表

運賃制度	上限運賃※1		実施運賃※2	
対キロ区間制	現行	申請	現行	申請
基準賃率	54円90銭	64円50銭	—	—
初乗運賃	170円	190円	170円	190円

※1 上限運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 実施運賃とは、認可が得られた上限運賃の範囲内で実施する、お客様から収受する運賃額です。実施運賃については現時点での予定であり、変更となる場合があります。

(6) 主要区間の運賃比較

主要区間	片道運賃		通勤定期券（1カ月）	
	現行	実施(予定)	現行	実施(予定)
盛岡駅前～盛岡バスセンター	170円	190円	6,630円	7,410円
松園バスターミナル～県庁・市役所前	400円	420円	15,600円	16,380円
松園バスターミナル～東松園小学校前	120円	140円	4,680円	5,460円
白百合学園入口～盛岡駅前	340円	360円	13,260円	14,040円
ビッグルーフ滝沢～中央通一丁目	450円	470円	17,550円	18,330円
巢子～大通三丁目	430円	450円	16,770円	17,550円
向中野四丁目～盛岡駅前	220円	240円	8,580円	9,360円
イオンモール盛岡(前潟)～盛岡駅前	280円	300円	10,920円	11,700円
イオンモール盛岡南(本宮)～盛岡駅前	220円	240円	8,580円	9,360円
つつじが丘団地～盛岡駅前	360円	380円	14,040円	14,820円
東安庭一丁目 県庁・市役所前	290円	310円	11,310円	12,090円
盛岡バスセンター～岩手医大病院	560円	580円	21,840円	22,620円
日詰～岩手医大病院	430円	450円	16,770円	17,550円
雫石駅前～盛岡駅前	720円	740円	28,080円	28,860円
高木団地～シーナシーナ花巻前	320円	340円	12,480円	13,260円

主要区間	片道運賃		通勤定期券（1ヵ月）	
	現行	実施(予定)	現行	実施(予定)
北上済生会病院 ～ 横川目	500円	520円	19,500円	20,280円
水沢駅前 ～ 江刺バスセンター	490円	510円	19,100円	19,890円
一関駅前 ～ 中尊寺	390円	410円	15,210円	15,990円
盛駅前 ～ 住田高校前	910円	930円	35,490円	36,270円
釜石駅前 ～ 釜石高校前	350円	370円	13,650円	14,430円
一関駅前 ～ 須川温泉	1,500円	1,550円	－	－
盛岡駅前 ～ 小岩井農場まきば園	730円	750円	－	－
盛岡駅前 ～ いわて花巻空港	1,500円	1,500円	－	－
花巻空港駅 ～ いわて花巻空港	320円	340円	－	－
盛岡バスセンター ～ 大槌町役場	2,400円	2,400円	－	－
盛岡バスセンター ～ 釜石駅前	2,400円	2,400円	－	－
盛岡バスセンター ～ 遠野駅前	1,940円	1,940円	－	－
盛岡バスセンター 遠野 サンリアショッピングセンター	2,750円	2,750円	－	－
盛岡バスセンター 荷沢 サンリアショッピングセンター	2,900円	2,900円	－	－
盛南ループ（上限運賃）	250円	250円	－	－
盛岡中心市街地循環バス「でんでんむし」	130円	150円	－	－
県立中央病院循環線	170円	190円	－	－

平泉巡回バス「るんるん」、各市町から運行委託を受けているコミュニティバス等は運賃の変更はございません

3. 収支状況及び輸送人員

		輸送人員	収支状況
2023年度（実績年度）		12.3百万人	△253百万円
2025年度（平年度推計）	改定前	11.1百万人	△439百万円
	改定後※3	11.0百万人	△79百万円

※3 2025年度運賃改定後の輸送人員、収支状況は申請上限運賃での推計値です。

4. これまでの経営合理化状況及び今後の取り組み

路線の見直しや輸送力の調整については、定期的なダイヤ改正のタイミングに限らず、必要に応じて機動的に対応してきております。中でも、特に利用者の少ない路線については、自治体を事業主体とするコミュニティバスやデマンド交通への移行を働きかけるなど、利用実態に則した交通モードへ移行することにより、路線廃止の影響を可能な限り軽減するよう努めております。

また、業務効率化の取り組みとして、ダイヤ改正の度に発生する負担の軽減を図るため、新たなダイヤ編成システムをバス機器メーカーと一体となって導入し、ダイヤ表示や帳票類の出力速度の向上と GTFS 出力業務の省力化を実現しております。今後も、ダイヤ編成システムと運行管理システムを連携させることで、データの一元管理による運行と業務の効率化に取り組んでまいります。また、営業車両の LTE 回線を複数目的で共用化することで、ランニング費用を抑制しつつ利用者の利便性向上と事業運営負担の軽減の両立を図ってまいります。

5. サービス向上に向けた取り組み

2021年3月に Suica 機能を持つ地域連携 IC カード「Iwate Green Pass」のサービスを盛岡地区で導入し、以降、サービスエリアの拡大に努めてまいりました。昨年度に一関、胆江、釜石、大船渡の各営業所への導入が完了したことで、遠野営業所（廃止路線代替バス）を除く全エリアで交通系 IC カードが利用できることとなり、乗降時のスピードアップなど大幅なサービス改善につながっております。交通系 IC カードサービスの導入に際しては、国、自治体からも大きな財政支援をいただく一方で、事業者としても相応の投資負担を行ってきたところであります。盛岡地区では昨年より定期券の IC カード化もスタートしており、今後も順次エリア拡大を図る予定です。

また、全国的にも先駆的な取り組みとして、2019年に運行をスタートした EV バスも現在は5台へ増車し運行エリアを拡大しておりますが、今後も車内の静粛性に優れ、排気ガスを発生させない環境性能を有する EV バスを強化していく方針です。当社として、国内外で進む技術革新に積極的に対応することで、これからも利用者の利便性、快適性の向上に取り組んでまいります。